

⚠ 調整器出口又はガスメータ入口における調整圧力(2.55～3.3kPa)が正常であること、設置された最大燃焼器のガス使用時の入口圧力が2kPa以上であることを検査し、調整器が正常に動作することを確認してください。

⚠ ガスの使用を停止し、閉そく圧力が3.5kPa以下であることを確認してください。

## 4 維持管理

⚠ 容器交換前に表示器により、使用側及び予備側を確認してください。

⚠ 切替ハンドル操作により予備側を使用側に切替え、使用側だった方の容器を外して充填容器と交換してください。なお、切替ハンドルを操作する時は、上回しにゆっくりと回してください。

⚠ 容器交換時には、調整器及び高圧ホースの内部に砂粒、ゴミ等の異物が入らないように注意してください。

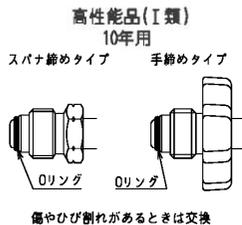
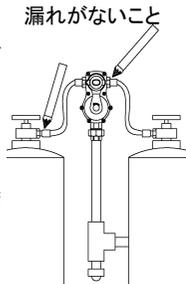
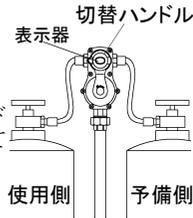
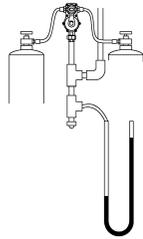
⚠ 容器交換作業終了時には、切替ハンドルの位置、使用側、予備側の表示が正常であることを確認した後、調整器や容器等の接続部からガス漏れがないことを検知液等を用いて確認してください。

⚠ 安全のために調整器や容器の周囲に物を積み上げないでください。

⊘ 調整器入口側と容器用弁に高圧ホースを連結したまま、容器を無理に動かして位置合わせをすることは、ガス漏れの原因になりますので、絶対にしないでください。

⚠ 調整器は製造後10年経過したものは、性能低下が予測されますので新品と交換してください。

⚠ 容器用バルブとの接続部からガス漏れを防止するため、Oリングを傷つけないよう注意してください。Oリングに傷・ひび割れ・変形等が発生しているものは、直ちに弊社製の新品と交換してください。



## 5 QRコード表示案内

CA8AにはQRコードを印字したシールを貼付しました。下記にそのシールとQRコードの読み取り内容を示しますのでご確認ください。

【QRコードシール】



【QRコード読み取り内容(例:CA8A-BH065Zの場合)】

006, CA8A-BH065Z, 201510, 202510, 151001, カツラ, ジキリ, 8, 604157147, R, 101, 0, 16, BH-5, 0, 201510, 202510

006	メーカー番号
CA8A-BH065Z	型式
201510	製造年月
202510	交換期限(202510:2025年10月を表す)
151001	製造番号(151001:2015年10月の1番ロットを表す)
カツラ	メーカー名
ジキリ	商品名(ジキリ:自動切替調整器を表す)
8	容量(kg/h)
604157147	弊社工場の管理番号
R	機種判定(R:調整器を表す)
101	調整器種別(101:自動切替式一体型調整器を表す)
0	調整器保有機能[0:なし, 1:発信機能(無保持型)、2:発信機能(自己保持型)]
16	同梱包の高圧ホースの種類[11:気相用高圧ホース, 16:ガス放出防止型高圧ホース(張力式)、00:ホースなし]
BH-5	同梱包の高圧ホースの型式(ホースなしの場合は0表示)
0	0:弊社工場の使用番号
201510	同梱包の高圧ホースの製造年月(ホースなしの場合は0表示)
202510	同梱包の高圧ホースの交換期限(ホースなしの場合は0表示)

<連絡先>

製造元・販売元

株式会社 桂精機製作所

〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1

TEL 045-461-2334(代)

KATSURA

104270500-03  
1609

LPガス販売事業者  
LPガス工事施工者 のみなさまへ

LPガス用 自動切替式調整器 取扱説明書  
8kg/h CA8A  
10kg/h PE-10A

取付工事は、液化石油ガス設備士の資格を有する方が行ってください。

この取扱説明書は主としてLPガス販売事業者・LPガス工事施工者の方を対象に1. 製品説明、2. 安全のために、3. 設置工事、4. 維持管理、5. QRコード表示案内、連絡先の順に作成してあります。

お客様に安全・快適にLPガスをご使用していただくため、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(以下、液石法と呼びます)、同法施行規則、告示並びに例示基準、LPガス設備設置基準及び取扱要領等の基準を遵守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図ってください。

なお、この説明書で ⚠ は警告 ⊘ 禁止を表わしたものです。

## 1 製品説明

LPガス用自動切替式圧力調整器(以下、調整器と呼びます)は、使用側のLPガス容器だけで供給圧力を維持できなくなったとき、予備側から自動的にLPガスを供給する機能を有するもので、消費設備のLPガス消費量に応じ適切な容量のものを選択することができます。

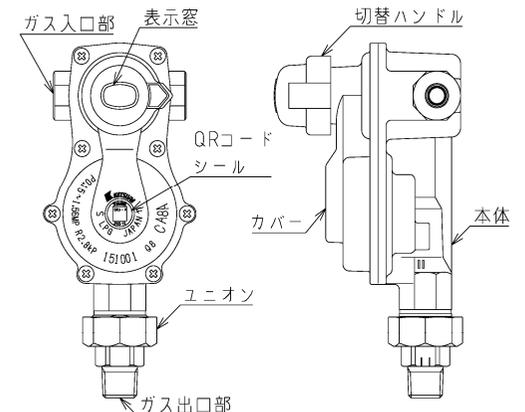
⚠ この製品は、「液化石油ガス販売事業者の認定に係る保安確保機器の設置等の細目を定める告示」の別表調整器の項に定めるI類の基準に適合したもので、(一財)日本LPガス機器検査協会の行う検査に合格した製品です。マークを確認してください。



⚠ 製品には、「保証書」、「取扱説明書」を同梱してありますのでご確認ください。

⚠ 製品に交換期限を明示したシールを貼付してあります。

<各部の名称>



項目	項目		
型式	CA8A	PE-10A	
使用ガス	LPガス		
入口側接続(左・右)	Rc1/4	Rc1/2	
出口側接続	ユニオン又は検査孔付ねじガス栓		
	R1/2、Rc1/2	Rc3/4	
整圧性能	入口圧力P	0.15～1.56MPa	
	流量Q	8kg/h以下	10kg/h以下
	調整圧力R	2.55～3.30kPa	
	閉そく圧力	3.50kPa以下	
気密性能	入口側	1.56MPa以上	
	出口側	5.50kPa以上	
安全弁	作動開始圧力	5.60～8.40kPa	
	作動停止圧力	5.04～8.40kPa	

## 2 安全のために

この製品はLPガス専用の調整器です。LPガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので他の用途には使用しないでください。

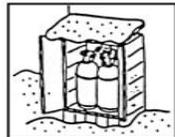


調整器は、工場で精密に組付けたものです。分解・改造するとガス漏れによる事故発生の原因となります。絶対に改造しないでください。



この製品は衝撃を受けるとガス漏れ等の事故につながる恐れがありますので、絶対に叩いたり、物を当てたり、重い物を落としたりして衝撃を与えないでください。

調整器を雪害・落雷の恐れのある場所に設置する場合は、収納庫等で適切に防護してください。



収納庫で防護する

この製品は、圧力が異常上昇した際にガスを外に逃がすための安全弁を内蔵しています。火気から2m以上離れた屋外に設置してください。



火から離す(2m以上)

## 3-1 設置工事

調整器の設置・取付工事はLPガス設備士自ら施工してください。



火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所には設置しないでください。

調整器は、有害ガス(例:アンモニア、亜硫酸ガス等)の影響を受ける恐れのある場所には設置しないでください。

調整器を配管等と接続する際には、ガス漏れ等の発生を防ぐため、ねじ部の切粉、切削油、ゴミ等の異物を完全に除去してください。また、調整器及び配管の内部に砂粒等の異物が入らないように注意してください。

低压部のねじ接続には、接続するねじの先端2山を残し全周に耐LPガス性の不乾性シール剤を使用してください。

調整器入口部の接続には、ねじの先端2山を残してガス用シールテープ(又はガス用シール剤塗布)を巻いて締付けてください。シール剤が管路中に侵入しないように注意してください。

調整器を配管等に取り付ける際は、調整器の軸方向に曲げ等の力が加わり、本体に無理な力が掛らないよう注意し、本体八角部の二面幅にスパナを掛け、適切な力でねじ込んでください。ねじ込む際、本体にキズ付けないよう注意してください。

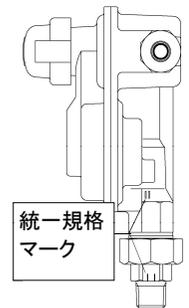
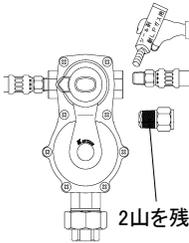
締付トルクは、1/4Bの場合は20N・m以下、1/2Bの場合は44N・m以下、3/4Bの場合は77N・m以下でねじ込んでください。

## 3-2 設置工事

配管用パイプレンチをスパナ代わりにして調整器側を締付けないでください。

調整器の通気孔から雨水・雪等が侵入して凍結することを防ぐため、適切な防護措置を施してください。

8kg/hタイプの出口側ユニオン部は、LPガス供給機器工業会において定められた統一規格形状です。調整器本体とユニオンつばに付されたマークを確認の上、必ずセットでご使用ください。規格品外の組み合わせでご使用になりますと、ガス漏れの原因となります。

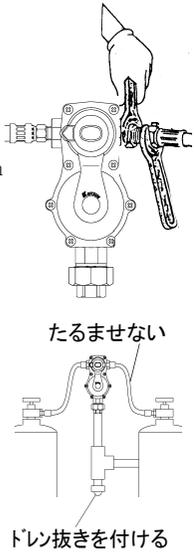


熱による圧力上昇(異常)を防ぐため直射日光があたらないようにしてください。

調整器入口側へ高圧ホースを取付ける場合は本体八角部の二面幅29mmを使ってスパナ2丁掛けで、調整器出口側を配管と接続する場合には本体八角部の二面幅32mmにスパナ掛けてください。

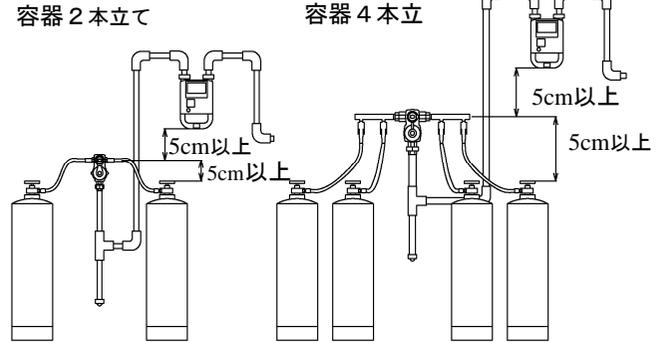
調整器の入口にPOL長ピン使用の場合は、雨水等が入らないようにキャップを上にして水平に取り付けてください。

高圧ホースはドレンが溜まるのを防ぐため、たるみを作らないよう適切な長さのものを選定し、容器から調整器へ上り勾配になるように取付け、出口側低压配管部にドレン抜きを設けてください。



## 3-3 設置工事

〈設置例〉



〈気密試験及び作動確認〉

調整器の設置工事終了時には、必ず液石法で定められたガス配管の気密試験を実施し、漏れのないことを確認してください。

容器バルブはゆっくり開けてください。調整器出口側のバルブを締めた状態で調整器に急激な圧力が掛かると安全弁が作動する恐れがあります。

周囲に火気のないことを確認した後、配管内のエアージョを行ってください。

1つの燃焼器でガスを燃焼させながら使用側の容器弁を閉じてガス供給を停止させたとき、表示器が赤色となること及び予備側から自動的にガス供給されることを交互に切替ハンドルを操作し、調整器の自動切替機能が正常であることを確認してください。